

平成 29 年度第 2 回知床世界自然遺産地域連絡会議

議事概要

平成 30 年 3 月 23 日 13:30 ～ 14:50

斜里町公民館 ゆめホール知床

議事次第

1. 環境省・林野庁・北海道の実施事業報告
2. 科学委員会からの報告
3. シンボルマーク部会からの報告
4. 平成 30 年度役員の選出
5. その他

●開会挨拶（北海道環境生活部生物多様性保全課自然公園担当課長）

●馬場斜里町長ご挨拶

議事 1. 環境省・林野庁・北海道の実施事業報告

- 資料 1－1：平成 29 年度 環境省・林野庁・北海道事業の報告
… 環境省、林野庁、北海道より説明。
- 資料 1－2：平成 29 年シカ年度 エゾシカ対策事業計画及び進捗報告
… 環境省、林野庁、北海道より説明。
- 資料 1－3：平成 29 年度 斜里町・羅臼町のヒグマ目撃・対応状況について
… 知床財団より説明。
- 資料 1－4：「世界自然遺産・知床の日」の取組について
… 北海道より説明。

ウトロ地域協議会（松本）：事業報告の資料 1－1、サケ類の遡上数調査についてだが、林野庁が調査を実施したルシャ川と北海道が実施したルサ川は異なる河川なのか。

林野庁（服部）：ルシャ川は斜里町、ルサ川は羅臼町に所在する河川であり、それぞれ異なる河川である。同じ内容の調査を、林野庁と北海道で分担して実施している。

ウトロ地域協議会（桜井）：エゾシカ対策の資料 1－2 の説明で、林野庁から目標の達成状況について報告があったが、環境省の達成状況についてはどうか。

知床財団（増田）：環境省事業の受託者として回答する。現在捕獲を継続中だが、全体を通して目標頭数に達していない。その理由としては、センサス等で確認できるエゾシカの個体数が減少し捕獲しにくくなっていること、また、エゾシカのいる場所では観光客の利用があり容易に捕獲できないことが考えられる。

議事 2. 科学委員会からの報告

- 資料 2：平成 29 年度第 2 回知床世界自然遺産地域科学委員会報告
… 環境省より説明。
- 資料 2－1：議事（1）各ワーキンググループ等の検討状況等について
… 環境省、林野庁及び北海道より説明。
- 資料 2－2：議事（3）第 4 1 回世界遺産委員会決議の対応について
… 環境省より説明。

羅臼漁協（竹田）：河川工作物 A P の経過報告の中で、「モセカルベツ川のダム改良は、地

元地域住民の全員の合意に至らず、工事を当面見送ることとなった」となっているが、当面とは何を意味しているのか。こちらとしては、改めて協議の場を設けていただけという認識でいる。今年改めて協議などあるのか。

北海道（小林）：改めての説明について道の内部で調整する。

ウトロ地域協議会（桜井）：世界遺産決議対応の中でルシャ川の橋から河床路への改良について検討しているが、ダム改良はともかく橋はサケ類の遡上に影響が無いと思われる中でどうして改良をしなければならないのか。世界自然遺産への登録は、河川工作物があることも含めて認められたものだと地元は捉えている。

林野庁（服部）：国際自然保護連合（IUCN）は人工物の排除を求めているものと捉えているが、林野庁としては橋の撤去ありきではなく今回の河床路はあくまでも実験であり、その結果により検討する。地元への説明は、4月以降に行う道庁のダム改良方針の説明とともに改めて行う予定である。

ウトロ地域協議会（桜井）：世界遺産委員会からはこれからも新しい宿題が出され、その要請に応え続けなければならないのか。

北海道（小林）：勧告は世界遺産委員会が行うものなので、具体的な意向はこちらでは分からないが、勧告に対する回答は科学委員会等で検討することになっている。

ウトロ地域協議会（松本）：勧告には遺産地域住民の意見をよく聞くようにとの内容もあったと思うが、回答を作成する際には遺産地域住民の意見をきちんと取り入れるようにしていただきたい。

議事 3. シンボルマーク部会からの報告

■資料 3：平成 29 年度シンボルマーク使用申請許可状況等について

… 北海道より説明

質問・意見なし

議事 4. 平成 30 年度役員の選出

■資料 4-1：知床世界自然遺産地域連絡会議 設置要綱

■資料 4-2：知床世界自然遺産地域連絡会議 平成 30 年度役員名簿（案）

… 北海道より説明

質問・意見なし

議事 5. その他

■北方領土の日露共同経済活動に係る風力発電への対応について（資料なし）

… 環境省より説明

環境省（安田）：前回の会議で羅臼町からお話しのあった日露共同経済活動の中の風力発電について、環境省としても環境保全を求める立場から本省を通して経済協力会議への参画を求めているが、実現できていない。

ウトロ地域協議会（桜井）：新年度予算で資源エネルギー庁では風力発電に対する調査予算が計上されている。北方領土隣接地域は知床と一体的に世界遺産とすることを求める意見もあり、環境省には更なる尽力をお願いしたい。

■資料：環境省、羅臼町及び（公財）知床財団のルサ地区における共同事業に関する協定について

… 羅臼町より説明

ウトロ地域協議会（松本）：防風防鹿柵設置候補地の盛り土は敷地内の残土か、または外から持ってきたものか。

知床財団（田澤）：外からのものである。

（全体を通じて）

知床財団（増田）：ウトロでは、一時期を除き、冬期間は公共交通手段が存在しない。国内からの旅行者は車を使用できるが、多くの外国人旅行者にとっては、ウトロから知床国立公園へ行く手段が徒歩しかないというのが現状である。知床国立公園に到達するまでの交通手段に問題があるということに関係者の皆さんで認識を共有していただきたい。

以上